

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年10月10日

BMJ:

新型コロナ対策検証作業:

政府はパンデミック中に公衆保健の原則を守らなかった:

英国医師会議長

【松崎雑感】

「反省」、「振り返り」…。一番必要なのは政治家でしょう。イギリスでは、政府の政策に対する「パブリックな検証」作業が常識のようです。

日本でも、政見に忖度しない「独立のコロナ対策検証」が必要と思います。

新型コロナ対策検証作業：政府は、パンデミック中に公衆保健の原則を守らなかった：英国医師会議長

Iacobucci G. Covid-19 inquiry: Ministers abandoned public health principles during pandemic, says BMA chief. *BMJ*. 2023;383:p2320. Published 2023 Oct 6. doi:10.1136/bmj.p2320

コロナパンデミック対策公開検証作業の席で、英国医師会評議会議長フィリップ・バンフィールド氏イギリス政府は、コロナパンデミック初期に、検査体制の不備、公衆衛生対策の欠如、感染防止器具の提供不十分などをもたらし、コロナ対策の大失敗をもたらしたと発言した。

彼は、ヘルスケアの場で、感染防止用具を適切に使用する的確な指示を行わなかったことで感染が蔓延したと語った。

彼は検証作業の第二ステージに、イギリスのコロナ対策の大枠を決めた決定過程と政治ガバナンスに関する証拠を提出すると述べている。

バンフィールド氏はコロナパンデミック中臨床現場で診療を行い、現在ノースウエールズの顧問産婦人科医となっている。

彼は、ICU以外のヘルスケア施設で感染防止器具の深刻な不足があったために、空気感染を防ぐことのできるマスクなしに患者をケアし、感染が広がったと語った。

「感染対策のABC」が無視された

バンフィールド氏は、英国医師会が、徹底的な検査、接触者追跡、自己隔離と言う感染拡大抑制対策の基本を放棄していると思われる政府の状況に懸念を示していたと述べた。「2020年の3月11～12日の時点で接触者追跡を止めたことが理解できない」と彼は検証の場で述べた。

接触者追跡を止めて、ロックダウンの開始されるまでの11日間に何もしなかったことで、感染が拡大し、NHSなどの医療システムに極めて大きな負荷をもたらしたと彼は語った。彼はチャンド・ナグポールの後任として、2022年7月に英国医師会評議会議長に就任した。

彼は、検査が十分に行われなかったために流行を封じ込めることが出来なかったと述べている。

PCR検査を行わずに、感染者と接触したヘルスケアワーカーを休業させたことにより、現場のスタッフが不足した。パンデミック初期に、実際には感染者がいるエリアに未感染患者を収容することになり、いたずらに感染が広がってしまったという。

また、地域の感染対策チームとNHS本体の提携が不十分だったため、第一線のヘルスケアワーカーに、国全体の感染状況データが伝わらなかったことも大きな問題点として指摘した。

英国医師会員をはじめとする公衆保健エキスパートは、「自分たちの意見が完全に無視され、ないがしろにされた」という実感を持っていると述べた。

マイノリティーおよび健康弱者の人々により多くの健康被害がもたらされた

バンフィールド氏は、「すべての人々が同じ嵐の海に翻弄されたが、乗っていた救命ボートの良し悪しで運命が決まった」と述べた。

黒人とアジア系のヘルスケアワーカーに対するバイアスと差別によって、待遇やキャリアの差別がもたらされたと述べた。

「人種民族的マイノリティーの人々が、感染が心配だから、ちゃんとした感染防止用具を支給してくださいと言っても、耳を貸されず、最も感染リスクの高い第一線の治療ケア要員として配置されることが多かった。パンデミック中、こうしたことが常態となり、NHS本体もこのことは認識していた」と語った。

今後について彼はこの様に語った。「このありさまでは、イギリス（の医療システム）は持たない。ヘルスケア現場における差別をなくさなければならない」